

令和7年度第10回（1月）宇検村農業委員会定例総会 議事録

日 時 令和8年1月27日（火）午前9時から

場 所 活性化センター「結いの館」

出席した委員 5名

2. 保池委員 3. 坂井委員 4. 時田委員 5. 前田委員
6. 森委員

欠席した委員 2名

7. 重野委員 8. 石原委員（会長）

出席した職員

推進員2名（新元、杉浦）、事務局2名（産業振興課 古島、桑野）、
農政担当（宝村）

議事概要

会長欠席のため、副会長・時田委員が議長に就任し議事進行を行った。

- | | |
|--------------|--|
| 1 議事録署名委員の選出 | 委員5・委員6を指名 |
| 2 会期の決定 | 令和8年1月27日（火）の1日間に決定 |
| 3 諸般の報告 | なし |
| 4 協議事項 | なし |
| 5 その他 | (1) かんきつ振興大会参加報告
(2) 農地利用集積促進計画について
(3) ミバエの発生状況について
(4) 農談会（地域計画）について
(5) 次回定例総会の日程について |
-

議事詳細

5 その他

(1) かんきつ振興大会参加報告

事務局より、令和8年1月23日に龍郷町で行われたかんきつ振興大会の参加報告があった。

(2) 農地利用集積促進計画について

農政担当より、平田地区のaさんが所有する農地について、集落内でのマッチングと農地バンクへの登録準備を行っている旨説明があった。

(3) ミバエの発生状況について

農政担当より、セグロウリミバエの発生状況と対応について報告があった。委員からはセグロウリミバエの現物を見たいとの要望があり、準備することとした。

① 状況

年が明けてから奄美市有良、昨日1月26日は奄美市小湊でトラップにかかっている。沖縄の状況と似ており、類似のミスジミバエはこの時期ほぼゼロ。発生が長引いた原因として沖永良部、徳之島での家庭菜園の栽培。冬瓜、苦瓜、ヘチマは発生が多い。経営作物は農薬使用により発生はわずか。家庭菜園から出ているのがはっきりわかる状態。

② 対応

宇検で発生した際は協力を依頼、作物を抜いた場所と収穫まで待ちたいといった場所あり、農薬散布の準備をして経過を見た次第。今後同様に発生した場合、犯人捜しのようにならないように、発生状況の調査をすることについて周知をはかりたい。

特に注意したいのがウリ類。島外で除去してもらえなかった事例あり、きつくは言えないが今のうちに周知して欲しい。果実類も対象品目になっているが発生件数が全然違う。過度な反応はせずに、今のうちから知ってもらおう機会を作っていきたい。

③ 作業員確保について

ミカンコミバエの調査を含めて、通常は村内で20箇所、セグロウリミバエの調査が始まってからは70箇所トラップを設置。毎週月曜の午前中までに報告の必要があり、日曜日に巡回。調査をお願いできそうな人がいたら教えて欲しい。昨日で西古見が解除されたため、少し数が減ってくるかと思う。

(4) 農談会（地域計画）について

農政担当より、地域計画の農談会実施について説明があった。

① 地域計画について

農地利用状況調査、農地利用意向調査を地域計画に反映する。今後農政事業関係はすべて地域計画に基づいて行っていく。

地域計画に必要とされるのは農家さんの5年後、10年後。先々を考えた時に農地を誰かに貸したいという意味確認。窮屈に決めてしまうのではなく、毎年見直し更新する。

② 農談会の開催について

色々な意見を地域計画に反映し農地の利用につなげていこうというもの。各集落で2月中実施予定。それぞれ地域の課題が違うので、実情に対応した会にしたい。農地利用が進んでいる地域では農家中心、そうでない地域は農家以外のアイデアももらい進める。

(5) 次回定例総会の開催について

令和8年2月25日（水）を予定。

以上をもって令和7年度第10回定例総会を閉会した。